

「天草の農業」 私はこう思う

市の農業の現状や今後などについて、みかん専業農家で天草市認定農家の会の福田賢二会長に、話を聞きしました。



天草市認定農家の会
福田 賢二 会長
(本渡町本渡・63歳)

「福田会長から見た、市の農業の現状についてお聞かせください。」

農業を始めて40年がたちますが、農業者の高齢化や後継者・担い手不足、耕作放棄地の増加など、年々深刻化しています。専業農家が少なくなってきたので、ほとんどが兼業農家です。作目ごとに専門的になり、農業経営のあり方も多様化しています。

「農業を取り巻く状況はとも厳しい」と。

はい、事実そうだと思います。情報や交通機関の発達、そしてライフスタイルの変化など、厳しいという状況はほかの職業でも同じだと思います。ただ、やり方次第でチャンスは生まれてくると考え

ています。たとえば、耕作放棄地の増加が問題になっていますが、一方では新たな事業展開や規模拡大のチャンスでもあります。ですから、農業者それぞれのやる気が大事になってくると思います。

問題は、農業者の減少です。従来は農家の子どもが後継ぎとして育ち、就農するのが普通でした。現在はその後継者が少なくなっているのです。いかにUターン者や企業の参入など、できるだけ多くの人を新規就農者として呼び込めるかが重要だと思います。

ただ、新規就農といっても農地の確保や初期投資など、なかなか簡単にはいかないのが現状です。行政をはじめ関係機関では、新規就農に関するいろいろな対策や支援を行

っています。たとえば、まずは農業に意欲のある人たちを、時間をかけて育てていくようなしくみを作ることが必要だと思います。

「天草の農業」の今後についてお聞かせください。

これからも、農業が天草の重要な産業であることに変わりありません。天草の風土の中で、農業で生きていくという覚悟が必要だと思います。「農業の元気は、天草の元気」という思いを胸に、これからも取り組んでいきたいと思っています。

耕作放棄地の再生・利用を支援!

耕作放棄地の再生・利用を行う農業者または農業者等が組織する団体などに、補助金を交付しています。補助金額は、農地の所在地のほか自己所有地か自己所有地以外かなどによって異なりますが、おおむね、10アールあたり2万～7万5千円程度です。

なお、補助金の交付を受けるには事前に申請が必要です。取組要件や申請方法などの詳細は、本庁(別館)・農業振興課へお尋ねください。

農地を貸したい、売りたい人は 市農業委員へご相談を!

「農業後継者がいない」「経営規模を縮小したい」「農地の管理ができなくなった」などの理由で農地を貸したい、売りたい人は、市農業委員へご相談ください。なお、お住まいの地区の担当農業委員については、本庁(別館)・農業委員会事務局にお尋ねいただくか、11月15日号「市政だより天草」お知らせ版6ページに掲載していますので、ご覧ください。



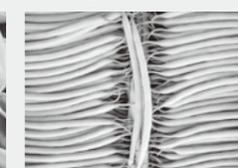
▲補助金を活用して再生された農地

【問い合わせ先】本庁(別館)・農業振興課 ☎ 1111内線2585
本庁(別館)・農業委員会事務局 ☎ 1111内線2562

豊かな自然と生産者の愛情にはぐくまれた逸品!

市内で出荷されている主な農畜産物を紹介します(【 】内は出荷時期など)。

 びわ 【5月～7月】	 不知火(デコボン) 【12月～5月】	 お茶 【新茶: 4月～5月】
 くり 【8月～10月】	 あまくさ晩柑 【3月～7月】	 温州みかん 【9月～1月】
 天草緑竹 【6月～10月】	 天草大王	 豚
 天草黒牛	 米 【新米: 8月・10月】	

 いちご 【12月～5月】	 ミニトマト 【11月～6月】			
 トルコギキョウ(花) 【11月～6月】	 甘長とうがらし 【6月～10月】	 きゅうり 【周年】	 玉ねぎ 【2月～6月】	 レタス 【11月～4月】
 オクラ 【6月～11月】	 スナップエンドウ 【11月～5月】	 さやいんげん 【8月以外】	 じゃがいも 【4月～7月・11月～12月】	